

KS-25-6（新青丸）共同利用研究航海報告書

- * 航海番号 KS-25-6 次研究航海

- * 航海名称 ドローン・ブイ・船上自動観測装置の統合的利用による海面スリックの
分布・形成過程の実態解明
Elucidation of the distribution and formation processes of sea surface
slicks through the integrated use of drones, buoys, and shipboard
automatic observation devices

- * 観測海域 日本海東部
Eastern Sea of Japan

- * 航海期間 令和 7 年 7 月 6 日（日）～令和 7 年 7 月 16 日（水）

- * 出港日時・場所 7 月 6 日 10 時 函館港

- * 入港日時・場所 7 月 16 日 10 時 函館港

- * 寄港期間・場所 無し

- * 研究課題 ドローン・ブイ・船上自動観測装置の統合的利用による海面スリックの
分布・形成過程の実態解明

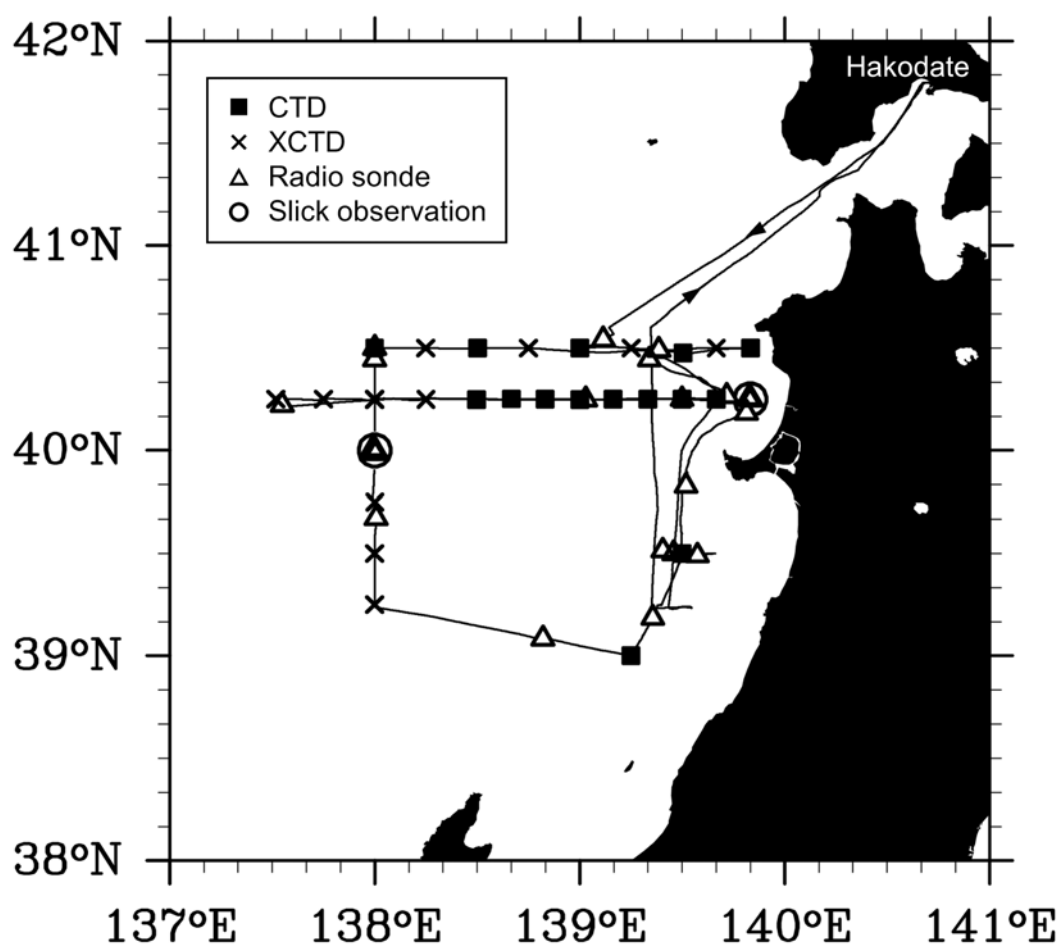
- * 主席研究員（氏名・所属・職名）
小松幸生・東京大学大気海洋研究所・准教授

- * 研究内容, 主調査者, 観測項目
 1. 海面スリックの分布・形成過程の実態解明
小松幸生
空中ドローン、水中ドローン、小型多項目ブイ、H-ADCP
 2. 対馬暖流横断面における洋上水蒸気量の微細分布構造の実態解明
吉田 聡
気象ラジオゾンデ、GNSS、マイクロ波放射計、全天雲カメラ
 3. 海面スリック内外における海表面マイクロ層の特性解明
濱崎恒二
ドラムサンプラー、ニスキンボトル採水、水温・塩分計、風速計
 4. 大気・海洋間の乱流フラックスの実態解明
近藤文義
大気海洋間乱流フラックス計、航海用レーダ波浪計、ドップラー波高計
 5. 対馬暖流横断面における海洋構造と洋上水蒸気輸送過程の関係解明
小松幸生
CTD/LADCP、採水、XCTD
 6. 鳥山の形成と海洋環境との関係、及び個体間・集団間の相互作用の実態解明
井上漱太
空中ドローン

* 乗船研究者氏名・所属・職名

小松幸生・東京大学大気海洋研究所・准教授
 吉田 聡・京都大学防災研究所・准教授
 濱崎恒二・東京大学大気海洋研究所・教授
 近藤文義・海上保安大学校・教授
 菅井洋太・東京大学大気海洋研究所・特任研究員
 岡本諭賢・東京大学大気海洋研究所・大学院生
 土屋 裕・東京大学大気海洋研究所・大学院生
 井上漱太・名古屋大学大学院環境学研究科・特任助教
 杉山響己・名古屋大学大学院環境学研究科・大学院生
 Kim Jeongho・名古屋大学大学院環境学研究科・大学院生
 Tonga Leia Pauline Sagisi・東北大学大学院理学研究科・大学院生
 鹿野友渚・筑波大学大学院生命環境科学研究科・大学院生
 土井俊弘・明治大学農学部・研究推進員
 寺田雄亮・海洋研究開発機構付加価値情報創生部門・PD 研究員

* 航跡・測点図



* 研究活動・観測の詳細や成果等について

1. CTD02・LADCP (SBE9plus etc. & Teledyne RDI)

保管機関： 東京大学 大気海洋研究所 海洋生物資源部門

管理責任者： 小松幸生

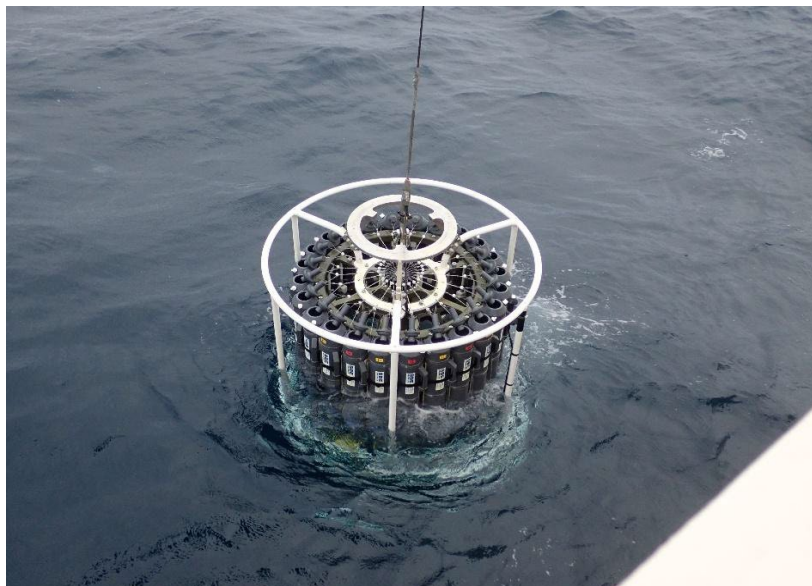
データの公開： CTD 塩分データの補正、およびデータ処理後直ちに JODC に提出し、航海終了後 2～3 年で公開する予定。

実施概要： 海底直上 5m まで（一部は、海底直上 50m もしくは 1600m まで）観測を実施した。

測定点，測定開始時刻（UTC），測定開始場所，測定最大深度（m），海底深度（m）：

C03,	2025/07/06 12:53,	40-30.025N,	139-00.017E,	3072.9,	3119.4
C01,	2025/07/06 20:14,	40-29.996N,	139-49.992E,	49.6,	110.8
C02,	2025/07/06 22:18,	40-28.530N,	139-30.250E,	907.0,	956.5
C04,	2025/07/07 03:47,	40-30.036N,	138-30.130E,	2869.5,	2874.5
C05,	2025/07/07 09:00,	40-30.028N,	137-59.972E,	3229.2,	3231.9
C06-1,	2025/07/07 22:06,	39-59.999N,	138-00.012E,	2533.2,	2559.3
C06-2,	2025/07/08 08:53,	39-59.999N,	138-00.005E,	2525.5,	2562.7
C06-3,	2025/07/08 22:07,	39-59.994N,	138-00.000E,	2526.0,	2560.3
C06-4,	2025/07/09 08:49,	39-59.995N,	138-00.001E,	1050.1,	2560.6
B02,	2025/07/09 20:07,	39-00.004N,	139-14.993E,	654.0,	664.3
B03-1,	2025/07/10 08:54,	39-29.988N,	139-29.993E,	554.1,	564.4
B03-2,	2025/07/10 19:08,	39-29.998N,	139-29.996E,	552.0,	564.2
B04-1,	2025/07/11 08:59,	40-14.951N,	139-49.974E,	50.2,	68.3
B04-2,	2025/07/11 22:04,	40-14.996N,	139-49.998E,	50.0,	68.5
B04-3,	2025/07/12 09:01,	40-14.992N,	139-50.006E,	50.1,	69.1
B04-4,	2025/07/12 22:02,	40-15.016N,	139-49.991E,	50.2,	68.5
C07,	2025/07/13 22:05,	40-14.906N,	138-29.792E,	1600.3,	2440.7
C08,	2025/07/14 00:19,	40-15.091N,	138-39.967E,	1600.7,	2782.2
C09,	2025/07/14 02:28,	40-15.017N,	138-49.868E,	1600.4,	3063.3
C10,	2025/07/14 04:40,	40-14.932N,	138-59.982E,	1600.3,	2603.9
C11,	2025/07/14 06:50,	40-14.990N,	139-09.814E,	1600.5,	2538.1
C12,	2025/07/14 09:04,	40-15.000N,	139-19.948E,	1600.2,	1852.0
C13,	2025/07/14 11:19,	40-15.006N,	139-29.968E,	1291.6,	1304.3
C14,	2025/07/14 13:32,	40-15.036N,	139-39.989E,	94.3,	105.0

(全 24 プロファイル)



2. XCTD (鶴見精機 XCTD-1N)

保管機関： 東京大学 大気海洋研究所 海洋生物資源部門

管理責任者： 小松幸生

データの公開： 深度、塩分データの補正、およびデータ処理後直ちに JODC に提出し、航海終了後 2～3 年で公開する予定。

実施概要： 通常航走しながら船尾よりセンサーを投下し、最大深度 1100m 前後まで水温・塩分の計測を行った。

測定点, 測定開始時刻 (UTC), 測定開始場所, 海底深度 (m) :

X02, 2025/7/06 16:34, 40-30.002N, 139-15.032E, 2768.1
X01, 2025/7/06 19:17, 40-30.002N, 139-39.975E, 246.5
X03, 2025/7/07 02:26, 40-30.000N, 138-44.985E, 3172.9
X04, 2025/7/07 07:14, 40-30.007N, 138-14.940E, 3207.6
X05, 2025/7/07 12:35, 40-14.957N, 137-59.997E, 2965.3
X06, 2025/7/09 11:03, 39-44.970N, 138-00.021E, 2568.7
X07, 2025/7/09 12:25, 39-30.008N, 137-59.998E, 2418.5
X08, 2025/7/09 13:46, 39-15.004N, 137-59.999E, 2296.1
X09, 2025/7/13 17:47, 40-15.033N, 137-31.068E, 2861.0
X10, 2025/7/13 18:46, 40-15.005N, 137-44.998E, 2810.4
X11, 2025/7/13 19:48, 40-14.996N, 137-59.994E, 2967.5
X12, 2025/7/13 20:49, 40-14.999N, 138-14.996E, 2791.3

(全 12 プロファイル)

3. 気象ラジオゾンデ (明星電気 iMS-100)

保管機関： 京都大学 防災研究所 水象災害研究部門

管理責任者： 吉田 聡

データの公開： データ処理後直ちに気象庁に提出し、航海終了後 2～3 年で公開する予定。

実施概要： 気球にヘリウムガスを充てんさせ、6 時間間隔 (一部は 3 時間間隔) で定時に放球し、観測を実施した。

測定点, 放球日時 (UTC), 放球場所, 水深 (m) :

S01, 2025/7/06 12:00, 40-32.485N, 139-06.896E, 2963.0
S02, 2025/7/06 17:30, 40-29.498N, 139-23.203E, 2109.5
S03, 2025/7/07 08:30, 40-30.000N, 137-59.986E, 3281.4
S04, 2025/7/07 11:30, 40-26.696N, 138-00.008E, 3251.8
S05, 2025/7/07 14:30, 40-00.062N, 137-59.980E, 2561.8
S06, 2025/7/07 17:30, 40-00.122N, 138-00.086E, 2565.6
S07, 2025/7/07 20:30, 39-59.970N, 138-00.070E, 2561.5
S08, 2025/7/07 23:30, 39-59.999N, 138-00.012E, 2560.8
S09, 2025/7/08 02:30, 40-00.113N, 138-00.132E, 2565.8
S10, 2025/7/08 05:30, 39-59.254N, 138-00.293E, 2343.0
S11, 2025/7/08 08:30, 39-59.937N, 138-00.037E, 2392.6
S12, 2025/7/08 11:30, 40-00.029N, 138-00.025E, 2561.0
S13, 2025/7/08 14:30, 39-59.999N, 138-00.017E, 2560.9
S14, 2025/7/08 17:30, 39-59.940N, 138-00.032E, 2394.1
S15, 2025/7/08 21:00, 39-59.976N, 137-59.996E, 2561.0
S16, 2025/7/08 23:30, 39-59.994N, 138-00.000E, 2559.9
S17, 2025/7/09 05:30, 40-00.457N, 137-59.369E, 2564.6
S18, 2025/7/09 11:30, 39-40.333N, 138-00.400E, 2546.1
S19, 2025/7/09 17:30, 39-05.051N, 138-49.233E, 260.5
S20, 2025/7/09 23:30, 39-11.110N, 139-21.395E, 840.3
S21, 2025/7/10 05:30, 39-29.413N, 139-34.481E, 442.4

S22,	2025/7/10 11:30,	39-30.825N,	139-24.366E,	778.0
S23,	2025/7/10 17:31,	39-30.060N,	139-27.543E,	712.7
S24,	2025/7/10 23:30,	39-49.625N,	139-31.140E,	493.3
S25,	2025/7/11 05:30,	40-11.052N,	139-48.784E,	68.3
S26,	2025/7/11 11:30,	40-15.179N,	139-50.117E,	67.7
S27,	2025/7/11 17:30,	40-15.069N,	139-50.037E,	68.3
S28,	2025/7/11 23:30,	40-14.997N,	139-49.998E,	68.6
S29,	2025/7/12 05:30,	40-14.881N,	139-50.112E,	68.4
S30,	2025/7/12 11:30,	40-15.952N,	139-43.067E,	89.7
S31,	2025/7/12 17:30,	40-26.619N,	139-20.378E,	1042.8
S32,	2025/7/12 23:30,	40-15.016N,	139-49.991E,	68.6
S33,	2025/7/13 05:30,	40-15.289N,	139-49.446E,	68.4
S34,	2025/7/13 11:30,	40-14.916N,	139-01.754E,	2587.1
S35,	2025/7/13 17:30,	40-13.391N,	137-32.880E,	2825.5
S36,	2025/7/14 11:30,	40-15.006N,	139-29.969E,	1305.7



4. 空中ドローンによる鳥山観測 (Marvic 3T , DJI)

保管機関：名古屋大学 大学院環境学研究科

管理責任者：井上漱太

データの公開：画像処理と解析に時間がかかるので、当面保管機関で管理する。処理終了後は速やかに JODC に提出し、公開する。

実施概要：後部甲板から飛翔させ、海面付近を撮影して鳥山の観測を行った。鳥山は 7/10 および 7/15 に観測できた。ウミネコおよびオオミズナギドリの群れが小型魚類を採餌する様子を空撮によって記録した。

測定点, 撮影開始時刻 (JST), 撮影開始場所：

B02-1	2025/7/10 06:07	39-29.86840N	, 139-37.71380E
B02-2	2025/7/10 06:59	39-29.82720N	, 139-34.15200E
B02-3	2025/7/10 07:59	39-29.98890N	, 139-29.99350E
B02-4	2025/7/10 08:57	39-29.98920N	, 139-29.99320E
B02-4	2025/7/10 09:21	39-29.98910N	, 139-29.99320E
B02-5	2025/7/10 09:58	39-30.12010N	, 139-25.04090E
B02-6	2025/7/10 10:57	39-30.57150N	, 139-24.41340E

B02-7 2025/7/10 12:01 39-30.89660N , 139-24.62780E
B02-8 2025/7/10 13:00 39-30.85470N , 139-25.13860E
B02-9 2025/7/10 14:00 39-30.66050N , 139-25.70210E
B02-10 2025/7/10 14:59 39-30.73100N , 139-26.30180E

B03-1 2025/7/11 05:02 40-10.02810N , 139-46.27710E
B03-2 2025/7/11 05:25 40-10.96520N , 139-48.65840E
B03-3 2025/7/11 06:26 40-14.54830N , 139-52.40670E
B03-4 2025/7/11 09:33 40-15.17140N , 139-50.17230E
B03-5 2025/7/11 10:26 40-15.12550N , 139-50.17350E
B03-6 2025/7/11 11:27 40-15.15440N , 139-50.15620E
B03-7 2025/7/11 12:26 40-15.11960N , 139-50.10870E
B03-8 2025/7/11 13:29 40-15.12170N , 139-50.10590E
B03-9 2025/7/11 14:25 40-15.12260N , 139-50.09180E
B03-10 2025/7/11 15:20 40-15.11630N , 139-50.09040E

B02-4 2025/7/15 06:29 40-14.85960N , 139-52.39430E
B02-4 2025/7/15 06:50 40-15.64500N , 139-48.87580E
B02-4 2025/7/15 07:41 40-14.98870N , 139-49.98240E
B02-4 2025/7/15 09:38 40-15.17720N , 139-50.16390E



5. 水平射出型 H-ADCP (Workhorse 640 kHz, Teledyne RD Instruments)

保管機関：東京大学 大気海洋研究所 海洋生物資源部門

管理責任者：小松幸生

データの公開：ノイズ除去、誤差確認等の処理に時間がかかるので、当面保管機関で管理する。

処理終了後は速やかに JODC に提出し、公開する。

実施概要：作業艇の右舷に取り付けて 30 分間停船し、海面下 50 cm の水平流速の海面スリック横断面における水平分布計測を行った。

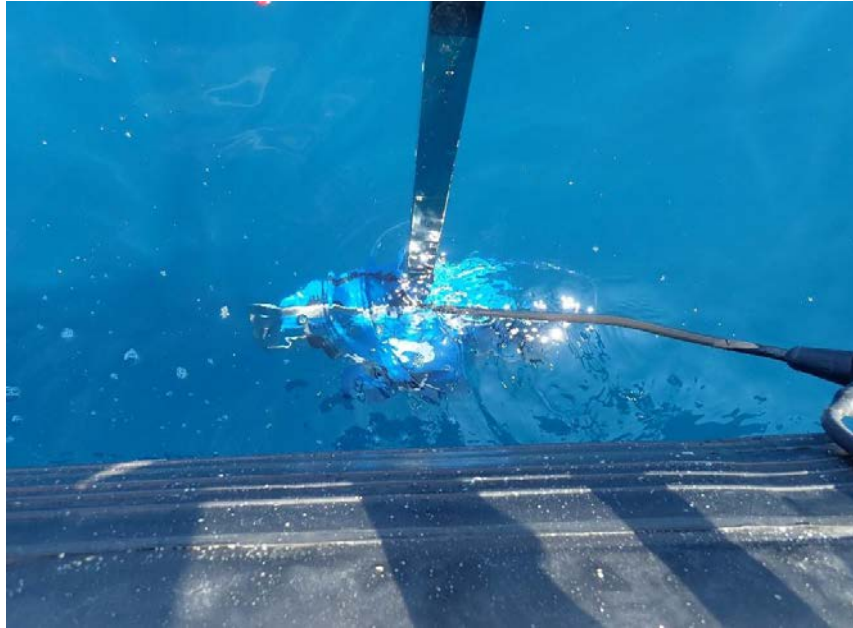
測定点，測定開始時刻 (UTC)，測定開始場所，海底深度 (m)：

Slick-1_HDCP (C06), 2025/7/08 01:30, 39-59.954N, 138-00.097E, 2561.9

Slick-2_HDCP (C06), 2025/7/09 10:39, 40-00.106N, 137-59.700E, 2561.7

Slick-3_HDCP (B04), 2025/7/12 01:15, 40-14.997N, 139-49.993E, 68.6

Slick-4_HDCP (B04), 2025/7/13 01:20, 40-15.015N, 139-49.990E, 68.6



6. 小型多項目ブイ（カスタム）、水中ドローン（SEASAM, Delair Marine, France）

保管機関：東京大学 大気海洋研究所 海洋生物資源部門

管理責任者：小松幸生

データの公開：ノイズ除去、誤差確認等の処理に時間がかかるので、当面保管機関で管理する。
処理終了後は速やかに JODC に提出し、公開する。

実施概要：小型多項目ブイをテグスで接続した水中ドローンを作業艇から操作して、海面スリック横断面における海面水温・塩分、波高の水平分布計測を行った。

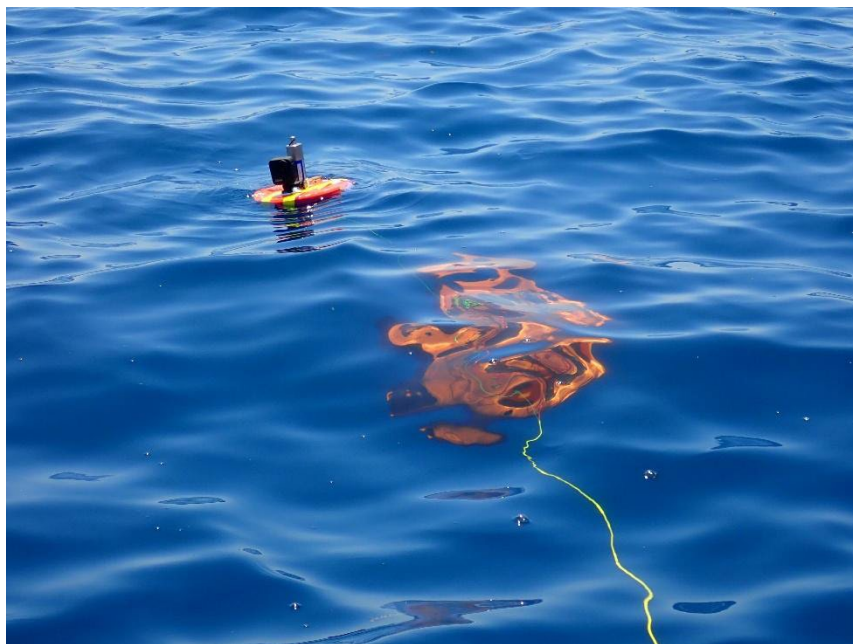
測定点，測定開始時刻（UTC），測定開始場所，海底深度（m）：

Slick-1_Drone(C06)，2025/7/08 02:18，40-00.113N，138-00.132E，2565.8

Slick-2_Drone(C06)，2025/7/09 02:05，40-00.175N，137-59.270E，2560.9

Slick-3_Drone(B04)，2025/7/12 01:50，40-14.953N，139-49.788E，69.1

Slick-4_Drone(B04)，2025/7/13 02:30，40-15.303N，139-49.445E，68.7



7. 小型多項目ブイ（カスタム）

保管機関：東京大学 大気海洋研究所 海洋生物資源部門

管理責任者：小松幸生

データの公開：ノイズ除去、誤差確認等の処理に時間がかかるので、当面保管機関で管理する。
処理終了後は速やかに JODC に提出し、公開する。

実施概要：小型多項目ブイを作業艇から海面に浮かせて、海面スリック内（測点名：Slick_X_OutsideSlick）と海面スリック外における海面水温・塩分、波高の連続計測を行った。

測定点，測定開始時刻（UTC），測定開始場所，海底深度（m）：

Slick-1_InsideSlick (C06)	2025/7/08 03:30	40-00.134N, 138-00.237E	2565.8
Slick-2_InsideSlick (C06)	2025/7/09 03:15	40-00.293N, 137-59.256E	2562.4
Slick-3_InsideSlick (B04)	2025/7/12 03:20	40-14.916N, 139-50.401E	67.4
Slick-4_InsideSlick (B04)	2025/7/13 03:40	40-15.305N, 139-49.442E	68.8
Slick-1_OutsideSlick (C06)	2025/7/08 06:00	39-59.228N, 138-00.269E	2340.0
Slick-2_OutsideSlick (C06)	2025/7/09 06:05	40-00.163N, 137-59.934E	2565.7
Slick-3_OutsideSlick (B04)	2025/7/12 06:30	40-14.881N, 139-50.112E	68.4
Slick-4_OutsideSlick (B04)	2025/7/13 06:00	40-15.138N, 139-49.411E	69.2



8. 海面マイクロ層ドラムサンプラー（カスタム）

保管機関：東京大学 大気海洋研究所 海洋生態系科学部門

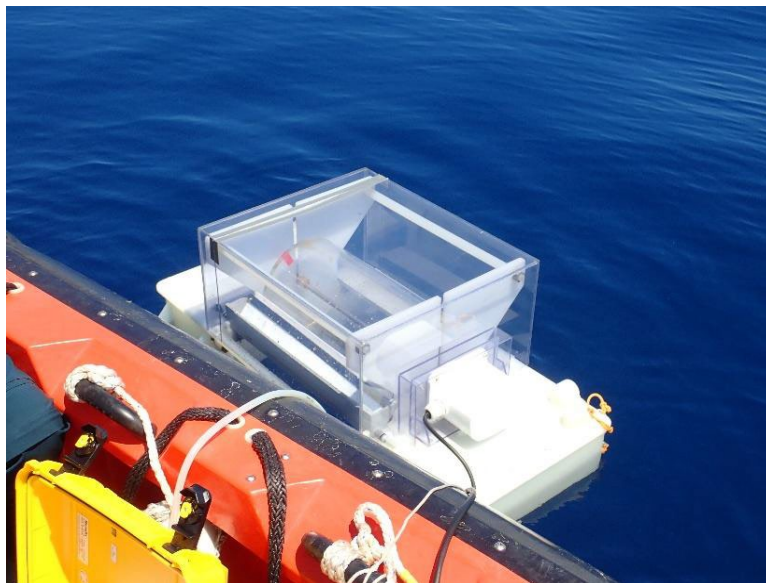
管理責任者：濱崎恒二

データの公開：分析処理に時間がかかるので、当面保管機関で管理する。処理終了後は速やかに JODC に提出し、公開する。

実施概要：作業艇の左舷側に取り付けて、ポンプでマイクロ層内の微生物、界面活性物質を採取した。

測定点，測定開始時刻（UTC），測定開始場所，海底深度（m）：

Slick-1_InsideSlick (C06)	2025/7/08 03:30	40-00.134N, 138-00.237E	2565.8
Slick-2_InsideSlick (C06)	2025/7/09 03:15	40-00.293N, 137-59.256E	2562.4
Slick-3_InsideSlick (B04)	2025/7/12 03:20	40-14.916N, 139-50.401E	67.4
Slick-4_InsideSlick (B04)	2025/7/13 03:40	40-15.305N, 139-49.442E	68.8
Slick-1_OutsideSlick (C06)	2025/7/08 06:00	39-59.228N, 138-00.269E	2340.0
Slick-2_OutsideSlick (C06)	2025/7/09 06:05	40-00.163N, 137-59.934E	2565.7
Slick-3_OutsideSlick (B04)	2025/7/12 06:30	40-14.881N, 139-50.112E	68.4
Slick-4_OutsideSlick (B04)	2025/7/13 06:00	40-15.138N, 139-49.411E	69.2



9. 海面マイクロ層直下の採水（ニスキン採水器, G0-101002.5XH, General Oceanics）

保管機関： 東京大学 大気海洋研究所 海洋生態系科学部門

管理責任者： 濱崎恒二

データの公開： 分析処理に時間がかかるので、当面保管機関で管理する。処理終了後は速やかに JODC に提出し、公開する。

実施概要： 作業艇から採水器を海面下に下して、微生物、界面活性物質を採取した。

測定点, 測定開始時刻 (UTC), 測定開始場所, 海底深度 (m) :

Slick-1_InsideSlick (C06),	2025/7/08 03:30,	40-00.134N,	138-00.237E,	2565.8
Slick-2_InsideSlick (C06),	2025/7/09 03:15,	40-00.293N,	137-59.256E,	2562.4
Slick-3_InsideSlick (B04),	2025/7/12 03:20,	40-14.916N,	139-50.401E,	67.4
Slick-4_InsideSlick (B04),	2025/7/13 03:40,	40-15.305N,	139-49.442E,	68.8
Slick-1_OutsideSlick (C06),	2025/7/08 06:00,	39-59.228N,	138-00.269E,	2340.0
Slick-2_OutsideSlick (C06),	2025/7/09 06:05,	40-00.163N,	137-59.934E,	2565.7
Slick-3_OutsideSlick (B04),	2025/7/12 06:30,	40-14.881N,	139-50.112E,	68.4
Slick-4_OutsideSlick (B04),	2025/7/13 06:00,	40-15.138N,	139-49.411E,	69.2



10. 採水

保管機関： 東京大学 大気海洋研究所 海洋生態系科学部門

管理責任者： 濱崎恒二

データの公開： 分析処理に時間がかかるので、当面保管機関で管理する。処理終了後は速やかに JODC に提出し、公開する。

実施概要： 以下の CTD の測点において、0m, 10m, 50m, 100m, 150m, 200m, 400m, 1000m, 海底-10m の水深で採水を実施した。なお、0m は右舷側からバケツ採水を実施した。採水項目は、透明細胞外ポリマー粒子（TEP）濃度、クマシー染色性粒子（CSP）濃度、海面活性物質濃度、バクテリア細胞数、クロロフィル a 濃度、環境 DNA である。

測定点，測定開始時刻（UTC），測定開始場所，海底深度（m）：

C01,	2025/07/06 20:14,	40-29.996N,	139-49.992E,	49.6,	110.8
C04,	2025/07/07 03:47,	40-30.036N,	138-30.130E,	2869.5,	2874.5
C06-1,	2025/07/07 22:06,	39-59.999N,	138-00.012E,	2533.2,	2559.3
C06-2,	2025/07/08 08:53,	39-59.999N,	138-00.005E,	2525.5,	2562.7
C06-3,	2025/07/08 22:07,	39-59.994N,	138-00.000E,	2526.0,	2560.3
B02,	2025/07/09 20:07,	39-00.004N,	139-14.993E,	654.0,	664.3
C13,	2025/07/14 11:19,	40-15.006N,	139-29.968E,	1291.6,	1304.3



11. マイクロ波放射計及び全天雲カメラ（古野電機）

測定方法： 羅針盤甲板上的の水蒸気の鉛直分布と雲画像の観測

保管機関： 京都大学 防災研究所 水象災害研究部門

管理責任者： 吉田 聡

測定場所，日時： 全航跡上、全航海期間

データの公開： ノイズ除去、誤差確認等の処理に時間がかかるので、当面保管機関で管理する。処理終了後は速やかに JODC に提出し、公開する。



12. GNSS 計による羅針盤甲板上での水蒸気量観測 (Trimble GNSS Choke Ring Geodetic Antenna v2)

測定場所、日時：全航跡上、全航海期間

保管機関：海洋研究開発機構 地球環境部門

管理責任者：藤田 実希子

データの公開：ノイズ除去、誤差確認等の処理に時間がかかるので、当面保管機関で管理する。処理終了後は速やかに JODC に提出し、公開する。



1 3. 船首楼頂上での大気海洋間フラックス観測 (GILL 社他)

測定場所, 日時: 全航跡上、全航海期間

保管機関: 海上保安大学校

管理責任者: 近藤文義

データの公開: ノイズ除去、誤差確認等の処理に時間がかかるので、当面保管機関で管理する。処理終了後は速やかに JODC に提出し、公開する。



1 4. 海洋表層の溶存ガス濃度の連続観測システム (CRDS, G2201-i)

測定場所, 日時: 全航跡上、全航海期間

保管機関: 海上保安大学校

管理責任者: 近藤文義

データの公開: ノイズ除去、誤差確認等の処理に時間がかかるので、当面保管機関で管理する。処理終了後は速やかに JODC に提出し、公開する。

1 5. 船首楼設置ドップラー波高計及び航海用レーダを利用した波高計による波浪観測 (日本無線)

測定場所, 日時: 全航跡上、全航海期間

保管機関: 東京大学 大気海洋研究所 海洋生物資源部門

管理責任者: 小松幸生

データの公開: ノイズ除去、誤差確認等の処理に時間がかかるので、当面保管機関で管理する。処理終了後は速やかに JODC に提出し、公開する。



16. 羅針盤甲板上のハイボリュームエアサンプル観測（紀本電子工業，AS-9）

測定場所，日時：全航跡上、全航海期間

保管機関： 東京大学 大気海洋研究所 海洋生態系科学部門

管理責任者： 濱崎恒二

データの公開：ノイズ除去、誤差確認等の処理に時間がかかるので、当面保管機関で管理する。処理終了後は速やかに JODC に提出し、公開する。

17. 風向風速制御装置（紀本電子工業）

測定場所，日時：全航跡上、全航海期間

保管機関： 東京大学 大気海洋研究所 海洋生態系科学部門

管理責任者： 濱崎恒二

データの公開：ノイズ除去、誤差確認等の処理に時間がかかるので、当面保管機関で管理する。処理終了後は速やかに JODC に提出し、公開する。

18. 雨水サンプル（カスタム）

測定場所，日時：全航跡上、全航海期間

保管機関： 東京大学 大気海洋研究所 海洋生態系科学部門

管理責任者： 濱崎恒二

データの公開：ノイズ除去、誤差確認等の処理に時間がかかるので、当面保管機関で管理する。処理終了後は速やかに JODC に提出し、公開する。

19. 船底設置 ADCP (Teledyne RDI)

測定場所, 日時: 全航跡上、全航海期間

保管機関: 東京大学 大気海洋研究所 海洋生物資源部門

管理責任者: 小松幸生

データの公開: データ処理後直ちに JODC に提出し、航海終了後 2～3 年で公開する予定。

20. 船上気象観測 (気温、気圧、湿度、風向・風速)

測定場所, 日時: 全航跡上、全航海期間

保管機関: 東京大学 大気海洋研究所 海洋生物資源部門

管理責任者: 小松幸生

データの公開: データ処理後直ちに JODC に提出し、航海終了後 2～3 年で公開する予定。

Notice on Using

This cruise report is a preliminary documentation as of the end of cruise.

This report is not necessarily corrected even if there is any inaccurate description (i.e. taxonomic classifications). This report is subject to be revised without notice. Some data on this report may be raw or unprocessed. If you are going to use or refer the data on this report, it is recommended to ask the Chief Scientist for latest status.

Users of information on this report are requested to submit Publication Report to Cooperative Research Cruise office.

E-mail: kyodoriyo@aori.u-tokyo.ac.jp